

第6学年 国語科学習指導案

6年 28名

指導者 花野 梓

1 単元名 筆者の考えを読み取り、自分の考えをまとめよう

『「考える」とは』(光村図書 6年)

2 単元について

本学級の子どもたちは、これまでの説明的文章の学習で、筆者の主張を読み取り、友達との対話を通して自分の考えを広げたり深めたりする活動に取り組んできた。「筆者が言いたいことは何なのか」「本当にそうなのか」と問い、考え、自分の言葉で語ること(あるいは文字で書くこと)で、自分の考えが明確なものになることを実感し、友達との対話を楽しんでいる。また、問いには答えがあるものとなないものがあり、調べれば分かることは明らかにしたうえで問うことで、知識が土台となって焦点が定まり、よりよい対話ができることも実感したようである。

本単元は、「考えるとは何か」というテーマについて、複数の説明的な文章を読み、理解した内容に基づいて自分の考えをまとめる活動を言語活動として設定している。自分の考えをもつためには、「考えること」について書かれた文章から筆者の主張を捉え、これまでの自分の経験と結び付ける必要がある。さらに、複数の文章を関連付けたり、友達と互いの考えの違いを共有したりしながら自分の考えを更新していくことで、考えの形成に関する資質・能力が養われると考える。「考える」という抽象的なテーマだからこそ、自分の生き方を見つめ、友達の考えに触れる活動の中で、新たな気づきが生まれることを期待している。文章との対話、友達との対話、自分自身との対話を通して、考えを広げ、深めさせたい。

第一次は、三つの文章の構成や段落の役割を学びながら、筆者の主張を読み取る。第二次は、子どもたち自身がテーマについて友達と対話し、自分の考えを広げたり深めたりする。第三次は、筆者の論の進め方にも再び着目させ、自分の「考える」に対する考えを文章にまとめる。この単元の要となる第二次での話し合い活動をより子どもの思考がはたらくものにするためには、子どもが発する問いが重要であると考え。初発の感想で出た問いから、子どもが「考える」ことについて、何に関心をもち、どのようなことを深く学びたいのかを把握して単元を構想し直し、単元の途中では、子どものつぶやきやふり返りの内容を拾い上げながらさらに問いかけていきたい。

3 単元の目標

(1) 活動目標 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめよう。

(2) 指導目標と単元の評価規準

指導目標	評価規準	評価の観点
○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができるようにする。	○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 ○思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使っている。	知識・技能 (1) オ・カ
○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができるようにする。	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	思考・判断・表現 C(1) オ・カ
○粘り強く文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習問題に沿って考えたことを伝え合おうとする態度を育てる。	○粘り強く文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習問題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	主体的に学習に取り組む態度

4 単元の構想表

学習活動と子どもの意識（全8時間）	主な指導・支援	評価規準
<p>第一次・・・学習の見通しをもつ。 （3時間）</p> <div>「考える」って何だろう。</div> <div>〇〇さんの主張はどういうことだろう。</div> <div>〇〇さん(筆者)の主張は納得だ。</div> <div>様々な表現の工夫がされているな。</div>	<p>○それぞれの文章での筆者の主張を読み取り、問いをもつことができるようにする。</p>	<p>○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 （態度・発言・記述）</p>
<p>第二次・・・話し合う。 （本時2／3時間）</p> <div>話すことで自分の考えがまとまっていくな。</div> <div>友達はどう考えているんだろう。</div>	<p>○問いを学習問題とし、話し合いを通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<p>○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 （態度・発言・記述）</p>
<p>第三次・・・自分の考えをまとめる。 （2時間）</p> <div>筆者の表現の工夫にも目を向けると自分の考えが伝えやすい。</div>	<p>○筆者の論の進め方の工夫を確認しながら、自分の考えをまとめることができるようにする。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使っている。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 （態度・発言・記述）</p>

5 本時の活動

- （1）目 標 ①活動目標 「考える」ことについての考えを伝え合おう。
②指導目標 友達と考えを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（2）展 開

学習活動	主な指導・支援	具体的評価規準
<p>1 学習問題を共有する。 中満さんの主張に納得か。</p>	<p>1 前時までの学習をふり返し、筆者の主張を確認できるようにする。</p>	<p>○文章を読んで理解したことに基づいて、互いの意見や経験の違いに気づき、認め合いながら考えている。 （態度・発言・記述）</p>
<p>2 話し合う。</p>	<p>2 本時の学習問題に関連する問いをもった子どもから発言させ、全員で話し合いができるようにする。 ○話し合いが停滞したときには、座席表をもとに教師から指名したり、質問したりする。 ○話し合いの流れが分かるように板書する。</p>	
<p>3 話し合いを通しての自分の考えをまとめる。</p>	<p>3 本時の学習問題に対する自分の考えをまとめることができるようにする。</p>	

（3）本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	文章を読んで理解したことに基づいて、互いの意見や経験の違いに気づき、認め合いながら発言したり、聞いたりしている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	座席表にそれぞれの学習問題に対する考えを記入しておき、教師から発言や記述を促す声かけをする。

